

2018年

毎日捲るから日めくりです。しかし1年に1度日めくりを交換する日がお正月です。凄い事では無いのに、小生は不思議と感慨にふけります。

昨年は嫌な事が一杯ありました。来年は良い事が一杯起きたら良いなと勝手に思い込んでいるのだと思います。人間が生物の摂理上、一生はおおよそ80年～100年です。その間80回から100回こんな年になってくれないかと勝手に思い込んでいるだけなのではないかと本当に不思議に思っています。そして感慨にふけるのです。



日本人は固まった休みが大よそ5日程度有るのはお盆休みと正月休みです。お盆休みは小生の場合アクティビティに動けるので頭を動かさず体を動かします。従って何も考えません。しかし正月休みは、体は動かしません。頭だけが勝手に動いて感慨にふけるのではないかと思います。

ここで小生が言いたいのは、地球が太陽の周りを回っている時間が1年、地球が自転している時間が1日。その摂理を基に我々が動かされているだけで、我々が動いているのではないと言う事をまず感じたところからしか出発できないのだという事だと思います。特にこの2～3年間、個人的には12月31日に思った事はこの年の1月1日に思った事と、結果からみてまるっきり違っていたと思います。それでも無事1年間を終えられた事の安堵感を感じています。今年の1月1日、2018年はこんな年にしたいという漠然な目標とはっきりした数値目標が有りますが、数値目標はあくまで結果に過ぎないと最近凄く思うようになりました。数値目標に対してのアプローチが全く違ってれば、終着点が同じでも、心構え、会社の体制、社員の思い、御客様と服部商店の思いがまるっきり一致しない事が有ると気づいたからです。漠然とした目標についてだけお話したいと思います。現在日本で起こっていることは、小生は流通革命だと思っています。アマゾンがフィンテック（勉強中です。）を含め全ての物作りから流通そして金融、物流まで大きく変えようとしているのは、何となく皆さんも解ると思います。その中で簡単な質問（消費者からの）がマーケットから来ていると感じています。

1、広葉樹木材製品もインターネットのショッピングサイトが必用か否か

はい

いいえ

2、その価格帯設定は一つだけ。（設計価格と卸価格に分かれていない）

はい

いいえ

この二つの質問だけを同業他社が見れば服部商店は何を考えているのか、流通業者の事は全く考えていないのかと多分思われると思いますが、小生がアメリカに商社を介せず直接仕入に出かけてアメリカから日本を見た時、本当に小さな事を思っているなとしか思えません。

アメリカのサプライヤーに小生が欲しい原木を、こちらの思う条件で全て買付けが出来ているならともかく、半年位前からこんな原木を集めて欲しいと言うオファーを出して、それに対して良い原木を集めてくれているのです。日本は一昨年と違い為替が10%不利です。現地価格は2%くらいの上昇です。もし10%為替が、日本側が得なら躊躇うことがなく直ぐ買いになります。商いを継続して行く道中なので今回だけ為替が悪いから買えないとは絶対に言えないのです。

来シーズンの事をもう既に伝えていきます。それが現状の最も難しい仕入の状況です。

初詣

社長にさせて頂いて今年で22年目に入ります。この22年間欠かさずしている行事は1月9日朝7時に今宮エビス神社に参拝する事です。

又最近は他の神社にお参りもしていないので、えべっさんに、お参りする事が初詣になります。国家安泰 五穀豊穡 家内安全を祈念してから、自分の事を願わないと、成就しないと最近、知人から聞きました。3つの事を祈念してから自分のお願いを神様にお願いしています。

ところで12月31日～1月1日の初夢は、長男の家族・長女の家族・次男の家族と10年位将来、正月に温泉旅行している光景でした。

是非実現できます様精進して参りたいと思います。



アメリカ情報

アメリカの懐の大きさは何で見ると。私は生産性だと思います。生産性とは付加価値を時間で割った（付加価値／時間）数字です。

生産性の向上は決して価格上昇に繋がりません。小生はウォールマートで、バナナ3本44セントで販売されているのを見てきました。夜食用に購入し食べましたが日本で販売されているバナナと同じ味でした。

又ユニクロのジーンズとほぼ同じ物が19ドルで販売されていることも自分の目で確かめてきました。

そしてショッピングモールでオークリーと言うスポーツサングラスメーカーの最新モデルが99ドルで販売されているので、自分用と家族用で合わせて3つ購入してきましたが、購入金額は日本円でおおよそ4万円です。同じ商品を日本で購入すると約倍になります。

この違いは何から始まっているのでしょうか。アメリカは日本と比較して3年～5年早く起こって現在も流通革命が進行しているのではないのでしょうか。それが有っても緩やかなインフレ傾向が継続しているのです。それが付加価値の向上つまり生産性が向上しているのだと思います。

日本もフィンテック等の新しい金融システムができれば、所謂既得権益勢力と新興勢力の戦いになりますが、グローバルゼーションを受け入れている現状では、新しい物にどんどん挑戦し、オンリーワンを目指さない限り生き残れないと思います。日本にいると解りませんが、少なくとも1年に1度はアメリカから日本を見る事以上に勉強のネタはないと思います。

無垢が売れない訳

南紀白浜のホテルマリオットの1室です。12月31日から2泊しましたが、無垢どころかツキイタも全く使っていません。見事と言おうか家具までシート貼りです。

宿泊代金から考えると何か間違っている様に思えるのは小生の間違いでしょうか。皆様はどうお思いになられますか。

しかし今年になって小生は今起こっている事に、間違っていると声を上げててもどうにもならない。それは、単に大工等の木工関係だけでなく全ての職人さんが不足している現実を直視して、我々は何が出来て、何が出来ないと言う様な、前向きな発想が必要ではないかと考えるようにしています。

確かに無垢を使って頂きたいと思いますが、部屋の過乾燥状態から来る無垢材の形状変化の問題、ツキイタを使う場合ツキイタの周りには無垢を持ってくるのですが、ツキイタは用意できるが、無垢材は用意出来にくい等の在庫の問題。

色んな課題山積な状況の中で森トラストがマリオットグループとのフランチャイズ契約を結んでホテル名をラフォーレからマリオットに変更する時のデザイナーの選択肢は決して間違っていない様に思えました。宿泊代金を御客様からちょうだいするのに、まず心配りが初めです。それを醸し出すには雰囲気が必要です。フロントからロビーそして部屋等のインフィル部分がありますその色合いがシートしか実現（1泊3万円でも無垢材・ツキイタを使えない現実を受け入れる事）出来ないのでは有れば、このデザイナーの選択肢は決して間違っていないと思います。

こんな状況が解っていれば、我々が行動しないといけない事は、各持ち場によって違うと思いますが、消防法で規制が義務つけられている不燃処理の問題ではないかと思っています。設備が徹底的に整備されている現在の新しいホテルになぜ昔より規制が厳しくなっている不燃材を使えと強制されるのか小生には解りません。シートは工業製品です。従って不燃処理のコストは非常に安いですが。しかしシートは、決して癒しと安らぎは人間には提供できません。無垢とツキイタの融合しか我々は味わえないのです。

無垢材は決して火に弱く有りません。表面は焼けますが、中までは燃えにくい性質を持っています。これから進んでくると思われる人工知能と消防設備の組合せで、消防法の中で義務つけられている新しいスプリンクラーの設置がされている現場ならもっと柔軟な規制緩和を行なっていただきたいと思っています。不燃処理のばかげた値段の高さ。何故こんなところまでするのか等の事は我々材木屋でも一部の方しか知らない事です。私自身勉強途中です。現実にアメリカ製のツキイタ（厚みが厚い為に消防法で規制している為日本の現場で多く使われていない）が日本中に多く出回っていない現実をまず見てください。従来ならアメリカ製のツキイタが入ってくれば、日本のツキイタメーカーは仕事が少なくなるという様なマイナスの発想しかないと思います。しかしアメリカ製のツキイタが日本中に使われる前に日本国内がシート張りばかりになっている現実を見た時、アメリカの外圧を利用したらどうですか。

日本の官僚が一番恐いのがアメリカの外圧である事は誰もが解っていることではないでしょうか。我々日本人だけで解決出来ない事になってしまっていると言う状況なら小生は仕方の無い選択肢だと感じています。今年日本の消防法の中でアメリカと何が違うのかを勉強したいと思っています。



第 17 回服部商店勉強会

2018年2月17日土曜日AM10時からアメリカ広葉樹ハードメープル材の原木の製材を見ていただこうと企画しています。

昨年はバーズアイメープルの製材を見て頂きました。今年はカーリーメープルの製材を見ていただこうと計画していましたが、現地に良い材が全くなく、折角集めてくれた原木が少量有ったのですが、正直に先方の社長にギブアップと言って購入を断念して帰ってきました。

ところでアメリカ材の原木の製材を見ていただくのは、ホワイトオーク・ブラックウオールナット・ブラックチェリー・ブラックアッシュ・バーズアイメープルと行ってきましたが、レッドオーク・ホワイトアッシュの製材もまだ見て頂いていませんが、それにはおのおの理由が有ります。

レッドオークはホワイトオークより品傷みが遅いので製材の順番は後者になります。ホワイトアッシュは、アメリカ国内で発生しているアッシュの病（エメラルドアッシュブリーチ・カミキリムシの影響）が出ていていずれ早い時期に日本に輸入されない可能性が有ります。

アメリカ材はサステナブル（環境に優しい）をクリアする樹種です。勿論ハードメープル材も問題は有りませんが、一つ課題が有るとすると、剥ぎの問題です。導管の有る樹種はボンドが中に十二分に入る事により、剥ぎが、切れる可能性は多く有りませんが、導管が少ないハードメープル材は剥ぎに工夫が必用です。

なぜ必用なのかを皆様に製材の現場で自分の目で確認していただければ、ハードメープル材の弱点を回避し長所を生かす柔軟な御仕事ができると確信しています。

又勉強会開催時、多数の原木が入荷していると思います。

製材も徐々に進んでいると思いますので、今シーズンの服部商店の現場をチェックして頂ければ、物づくりのヒントになると思います。



昨年 12 月に買い付けた原木の一部が入荷して製材は始まっていると思います。

製材して栈積みした現場を見ていただく事も、大事だと思います。

別紙アンケートを用意していますので、勉強会に是非参加して、広葉樹の製材を見てみたいと言う方はご連絡をお願いします。

バグズオーダー通信（メールにて）を定期的に購読希望の方は別紙に記入してお送りください。

第17回服部商店勉強会と90周年謝恩販売の御知らせ

FAX 072-422-8577

info@hattoriwood.co.jp



アンケートをお願いします。

- 1, 2018年2月17日に開催します第17回服部商店勉強会『ハードメープルの製材』に参加したい。

はい

いいえ

謝恩セールのお知らせ・2月1日～28日迄御購入の方に5%分のキャッシュバックを行います。

*注意 1回に5,000円(消費税・運賃別)で御買い上げして頂いた御客様が対象です。90周年記念販売と口答もしくはメール・ファックスでご注文を頂ける時必ず連絡して頂ける様お願い致します。

勉強会参加の方は記入して送って下さい。

在中のバグズオーダー通信を定期的に購読希望の方も下記に記入の上お申し込み下さい。

会社名と担当者名	
参加人数・連絡先 TEL	人
連絡先住所	
FAX・メールアドレス	
バグズオーダー通信 メールにて購読希望	はい いいえ

(株)服部商店

596-0011

大阪府岸和田市木材町16-1

TEL 072-438-0173・0511

FAX 072-422-8577